

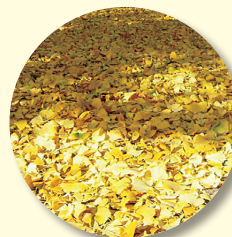
SUGINAMI
Scenery
Photo Contest
2010

杉並風景写真コンテスト

SUGINAMI Scenery Photo Contest 2010

－ 私の好きな杉並の「風景」－

すばらしい風景や素敵な家やお店、みどりなど、皆さんのまわりで見つけました。



【募集期間】 2009.10.21 ～ 2010.6.10 【応募件数】 89 件 【選考会】 2010.7.28



SUGINAMI CITY

杉並区都市整備部まちづくり推進課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1



入賞 「樹々の中の大滝」（区立蚕糸の森公園）与田玲子さん

地域の小さな発見が出来る、魅力ある過去・現在・未来が満載の“蚕糸の森公園”内の一コマです。蚕糸試験場跡地で当時のプラタナス、ヒマラヤ杉、銀杏等の大樹が大空に向かって伸びています。その間に水の流れる人工滝があり、まさに流行のパワースポットです。歩けば人、植物、建物に触れあって、楽しさ、喜び感を味わえます。



入賞 「冬近し」（大宮八幡宮内）佐藤 敬さん

大宮八幡宮の神門の両脇には夫婦イチョウの大木があり、新緑の頃、黄葉の頃とそれぞれの季節に参拝客の目を楽しませています。
この写真は12月初めに撮影したもので、神門の青緑色の銅葺きの屋根の上に降り積もった黄色い落葉が冬の訪れを告げていました。



2008.1.17 7:51
東京にちらーとふった雪
んごをかぶって。
「さっちゃん みてー
雪ふったよ」



2008.3.8 16:43



2008.3.18 17:11
「川は」君のうしろの木は、くるみ。
近くにみかんのたくさんなる木があって。
友達の「タンゴ」と。



2008.3.25 10:03
散歩の人がおとしていったのか？
「川は」巻き。



2008.4.1 12:21
わーい さっちゃん
みてー
みかんこんなにいっぱい！
ピエール「うれしいなー」
たべよ たべよ



2009.6.14 8:57
「川は」君にぴったりの
帽子。かっこいいぞ！



入賞 「『川は』君コレクション」（神田川沿い）北川聡子さん

神田川沿いのかわいらしい公園にいる「川は」君です。子供達は「川はくーん」と飛びつき遊んで行きます。私も「川は」君と「ピエール」（かえる。勝手に命名す。）が大好きです。その「川は」君がいつも待っているおばさんがいます。時々お水とタワシを持って来て、「川は」君をきれーいにしてくれるのです。雨の日も。おばさんの帰る後ろ姿を見つめ、「川は」君は言っています。「ありがとう♡」



入賞 「4本イチョウ、これから」 (大宮前体育館建設予定地) 大場将国さん

4本のイチョウが、息を整え、次を待っているように見えます。少し前まで校庭で賑やかな時間を過ごしたイチョウたちは、何もなくなった敷地で見るとそれほど大きくありません。お互いが離れていたなら切られたでしょう。それでも今こうして立つ姿に、これから始まる、賑やかな風の前の静けさを感じました。



入賞 「高円寺落葉の絨毯」 (高円寺境内) 吉田勝美さん

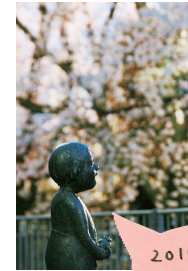
高円寺さんの近辺は四季を通じて、私の散策の一コースです。とりわけ青葉の季節はさわやかで心がいやされる場所です。高円寺参道のもみじも折にふれ、それぞれの姿を見せてくれます。境内に銀杏の大きな古木があります。落葉の季節に出会い撮りました。落ち葉の盛りには樹の下面が見えないくらいです。

2009.6.16 9:43
ところが！子供のかわいい遊び声
してるなあと。川は「川は」君はデ
コレーションされて、えへへ少し
こまった？！でも遊んでもらってう
れしかった。

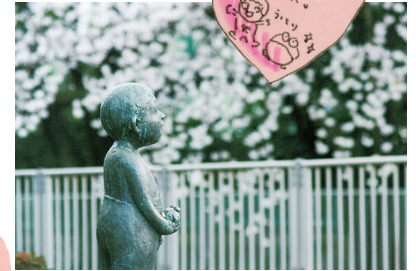


2009.7.28 7:23
友達のエコたち。

2009.8.16 18:00
さるすべりの花のむこう。
いつも「川は」君がこち
らを見ていてくれる。



2010.4.1 17:56
「ヒョーエル、きれいだな」



2010.4.1 18:35
神田川の岸。
おはよう。2人。
おはよう。2人。
おはよう。2人。



出口花夏さん



藤野敬史さん



神崎美恵子さん



服部 洋さん



太田里沙さん



千葉皓史さん



廣瀬道孝さん



松葉 襄さん

応募された方々の作品です



水口嵩敏さん



西塚菜穂子さん



崎山安人さん



成谷美加さん



米森公彦さん



北原 蘭さん



西森多美子さん

選考委員

有吉玉青
大倉素子
大嶋信道
河野 進
津田裕子

風景写真コンテストの総評

応募作を拝見していて、撮影者の杉並への愛情を感じました。自然がひととき見せる表情をとらえられたのは、ふだんからその場所を好んで歩いていらっしゃるからではないでしょうか。四季折々のオブジェの姿に注がれるまなざしはやさしく、風景の中に人のいる作品からは、そこで憩う人々への共感が伝わってきます。慈しむ気持ちで撮られた写真に、その場所を、その季節に訪ねてみたいとなりました。

有吉玉青（作家）



堀内京子さん



石川時子さん